



南部中便り

年間スローガン

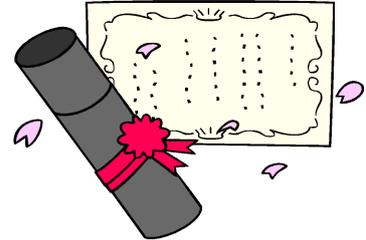
平戸市立南部中学校長 村里 靖

やる気

あいさつ

思いやり

第12回 卒業証書授与式



<絆を胸に 今日巣立つ32名…>

本日、第12回卒業証書授与式をとり行いました。32名の卒業生が、学び舎を巣立っていきました。中学校の卒業式は、義務教育の修了式でもあります。希望を胸に、それぞれの道を進んでいく卒業生へのはなむけに、また、校長の最後の授業として、心を込めて式辞を述べました。

<校長式辞より 抜粋要約>

- 夢を持ち、大いに語る**
夢は語れば語るほど、それを実現したときのイメージが鮮明になってきます。すると、それに向けてのやる気がどんどん沸いてきます。自分らしい人生を生きる第一歩は、『夢を持ち、大いに語る』ことです。
- チャレンジする勇気をもつ**
夢を見つけ、目標を持って、失敗を恐れて行動に移すことができなければ何の進歩もありません。たとえ何度挫折しても、あきらめない限りは失敗ではない。成功への道のりの途中です。夢に向かって『勇気をもってチャレンジ』を続けてほしいと思います。
- 感動できる力（感性）を高める**
人は「理論」や「理屈」で動くのではなく、『感動』によって動くものです。積極的な人生を生きる上で、『感動できる力（感性）』を高めることはとても大切なことです。そして、『感性』を磨く一番の方法は「感謝の心」を大切にすることです。ささやかな幸運やさりげない人の「やさしさ」に気づき、感謝できる。そんな「感謝の心」を大切にしながら、さらに『感性を磨き高め』てほしいと思います。

夢を大いに語り、感性を高め、チャレンジする勇気をもって、力強く自らの人生を切り拓いてください。

式辞の後は、教育委員 松本美穂子様 から教育委員会告示、市財務部長 吉住龍三様 から市長祝辞の伝達、PTA会長 貞方量様 から祝辞を賜りました。温かい祝福と励ましの言葉で、卒業生にとって感慨深いものであったことと思います。

送辞は、村上颯汰君が、数々の思い出とともに、惜別と激励、そして後を託されたものとしての決意を述べました。

答辞は、川口勇人君が、仲間との忘れがたい出来事やいろんな活動を通して学んだことなどを、懐かしみ愛しむように述べました。そして、両親をはじめとする周りの方への感謝と、これからの生活に向かう決意で締めくくりました。

卒業式は、保護者の皆さんにとっても子育ての一つの節目になるものであるかと思います。義務教育を終え、安堵の思いを持たれたことでしょうか。お子様の卒業を心からお喜び申し上げます。そして、卒業生のさらなる成長をお祈りいたします。

<ありがとうございます！>

○卒業記念品○

『電波ソーラー屋外用壁掛時計』

・玄関外に設置し、大切に使用させていただきます。